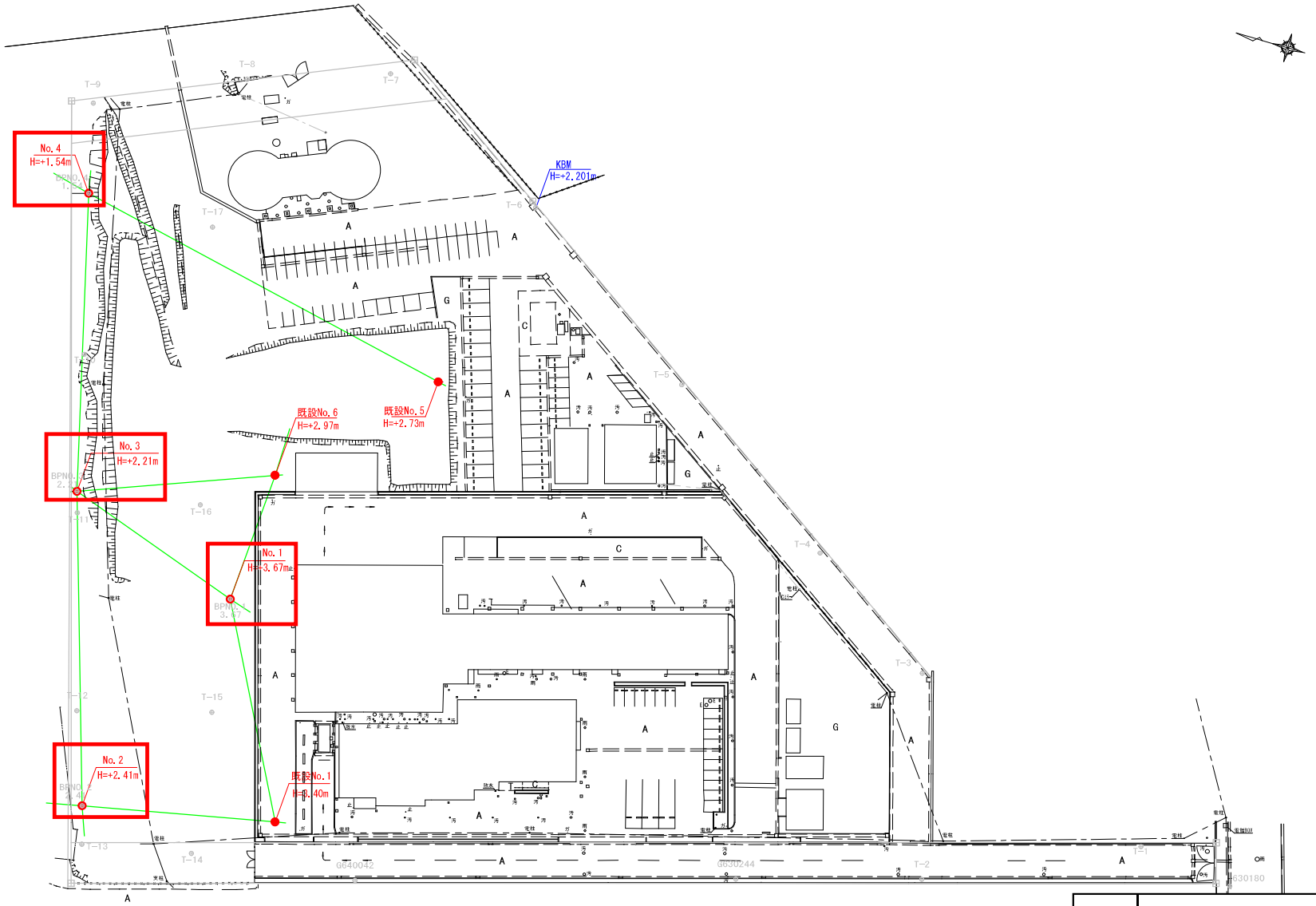
添付１

北九州市八幡西区洞北町1番11、1番19、１番10

実 測 図



業務名称	新資源化センター地質調査業務委託		
図面名称	調査位置図	縮尺	S=1/1000

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調　　査　　名　新資源化センター地質調査業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	0	3	0	6	5	5	9	0	0	1

シートNo.　001

ボーリング名	No.1	調査位置	北九州市八幡西区洞北町7番10号			北緯	33° 52’ 44.0332″
発注機関	北九州市環境局循環社会推進部施設課			調査期間	令和4年 1月17日～ 令和4年 1月20日	東経	130° 44’ 48.3065″
調査業者名	北九州地質合資会社 電　話 093-230-6614	主任技師	川野義人	現場代理人		コア鑑定者	川野義人	ボーリング責任者	江川貴司
孔口標高	KBM 3.67m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　D1-B型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	20.00m								エンジン	ヤンマー NFAD12型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1					埋土	暗茶灰～褐～暗灰			粘土混り砂礫状 φ100mm大までの礫含む 炭化物混入 非常に密な相対密度示す 含水比低い		1/18 1.80	1.15	17	30	10	57/30							
2	1.17	2.50	2.50									1.45					57							
												2.15	13	10	6	29/30								
3	0.17	1.00	3.50		埋土	灰淡灰暗灰	非常に緩い		礫混りシルト質砂 3.50m間φ20mm大礫混入 下部アッシュ主体			2.45					29							
												3.15	1			1/30								
4												3.45					1							
												4.15	1			1/30								
5												4.45					1							
												5.00	0			0/50								
6					砂質シルト	暗灰		軟らかい	砂分を部分的に含むシルト 粘性中位～高い 含水比非常に高い 非常に軟弱 砂分は細砂～中砂 全体に貝殻小片含む 腐植物も下部混入			5.50					0								
												6.15	1			1/30								
7												6.45					1							
												7.15	1			1/30								
8	-4.93	5.10	8.60									7.45					1							
												8.15	1			1/30								
9					粘土	暗青灰		軟らかい	粘性の高い粘土 貝殻片少量含む 腐植物も少量含む 含水比高い			8.45					1							
												9.15	1			1/30								
10												9.45					1							
												10.15	1			1/30								
11												10.45					1							
												11.15	1	1		2/30								
12	-9.13	4.20	12.80									11.45					2							
												12.15	1	1		2/30								
13						暗茶灰～暗黄灰～暗灰			GL-12.80～13.80m細砂分多く含む粘土 粘性高く含水比高い 砂分は細中砂主体 GL-13.80m以深は細砂分含む粘土 粘性高く含水比高い 弱固結状 GL-15m付近木片混入			12.45					2							
												13.15	3	3	4	10/30								
14					砂混り粘土							13.45					10								
												14.15	3	4	4	11/30								
15												14.45					11							
												15.15	3	3	3	9/30								
16	-12.13	3.00	15.80									15.45					9							
	-12.73	0.60	16.40		礫混りシルト質砂	灰暗灰	密な		小礫含む細中砂 φ2mm程度の小礫含む			16.15	9	11	20	40/30	40							
17												16.45												
												17.00	60			60/6	50以上							
18					砂岩	灰～暗青灰			細粒砂岩 固結砂状～棒状コア採取される ハンマー軽打～中打で潰れる 下部ではハンマーの中打で折れる 部分的に薄層で頁岩挟む			17.06	6			6								
												18.00	60			60/4	50以上							
19												18.04	4			4								
												19.00	60			60/3	50以上							
20	-16.33	3.60	20.00									19.03	3			3								
												20.00	60			60/4	50以上							
21												20.04	4			4								
22																								
23																								

北九州地質合資会社

ボーリング柱状図

調　　査　　名　新資源化センター地質調査業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	0	3	0	6	5	5	9	0	0	2

シートNo.　002

ボーリング名	No.2	調査位置	北九州市八幡西区洞北町7番10号		北緯	33° 52’ 44.7007″
発注機関	北九州市環境局循環社会推進部施設課	調査期間	令和4年 1月21日～ 令和4年 1月26日		東経	130° 44’ 46.0166″
調査業者名	北九州地質合資会社 電　話 093-230-6614	主任技師	川野義人	現場代理人		コア鑑定者 川野義人　ボーリング責任者 永見 豊
孔口標高	KBM 2.41m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	18.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマー NFAD10型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	0.91	1.50	1.50		埋土	暗茶灰～暗灰			GL-0.75m付近までφ100mm大前後のコンクリート片混入する細砂 含水比高い 以深は礫分混入する細砂～粗砂 含水比高い　地層乱れる 下部焼却灰混入		1/24 0.80	1.15	6	5	1	12/30				1.00	P2-1	㊀	比重 含水度 粒度性 液性塑性	
2												1.45								1.50				
3												2.00	0/50			0/50								
4												2.50												
5												3.00	0/50			0/50				4.00	P2-2	㊀	比重 含水度 粒度性 液性塑性	
6												3.50								4.50				
7												4.00	0/50			0/50								
8	-5.39	6.30	7.80		砂質シルト	暗灰		軟らかい	砂分を部分的に含むシルト 粘性中位～高い 含水比非常に高い 非常に軟弱 砂分は細砂～中砂 全体に貝殻小片含む 腐植物下部につれ多く含む 下部につれ粘性高くなる			4.50						5.20	L2-1	5.80				
9												6.15	1/30			1/30								
10												6.45												
11												7.15	1/30			1/30								
12	-9.59	4.20	12.00		粘土	暗灰～暗青灰		軟らかい	粘性の高い粘土 貝殻片少量含む 含水比高い GL-10m付近より暗青灰色強くなる			7.45												
13												8.15	1/30			1/30								
14	-11.39	1.80	13.80		砂混り粘土	暗青灰～暗灰～暗茶灰		中位	粘性の高い粘土 含水比高い 下部腐植物混入 弱固結状			8.45												
15												9.15	1/15	1/15		2/30				9.00	P2-3	㊀	比重 含水度 粒度性 液性塑性	
16	-12.49	1.10	14.90		礫混りシルト質砂	灰		中ぐらい	均一粒子の細砂主体 含水比高い　シルト分多く含む GL-14.60m付近より小礫混入 腐植物混入			9.45								9.50				
17												10.15	1/15	1/15		2/30								
18	-15.59	3.10	18.00		砂岩	灰～暗青灰			細粒砂岩 潜頭部風化進行し土砂化 固結砂状～棒状コア採取される ハンマーの軽打～中打で潰れる～折れる 爪痕白色に残る			10.45												
19												11.15	1	1	1	3/30								
20												11.45												
21												12.15	1	2	2	5/30				12.00	P2-4	㊀	比重 含水度 粒度性 液性塑性	
22												12.45								12.50				
23												13.15	2	2	3	7/30								
												13.45												
												14.15	4	3	3	10/30				14.00	P2-5	㊀	比重 含水度 粒度性 液性塑性	
												14.45								14.50				
												15.15	25	35/4		60/14	50以上							
												15.29												
												16.00	60/5			60/5	50以上							
												16.05												
												17.00	60/3			60/3	50以上							
												17.03												
												18.00	60/3			60/3	50以上							
												18.03												

北九州地質合資会社

ボーリング柱状図

調　　査　　名　新資源化センター地質調査業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	0	3	0	6	5	5	9	0	0	3

シートNo.　003

ボーリング名	No.3	調査位置	北九州市八幡西区洞北町7番10号			北緯	33° 52’ 45.4449″
発注機関	北九州市環境局循環社会推進部施設課			調査期間	令和4年 1月18日～ 令和4年 1月21日	東経	130° 44’ 48.8799″
調査業者名	北九州地質合資会社 電　話 093-230-6614	主任技師	川野義人	現場代理人		コア鑑定者	川野義人	ボーリング責任者	永見 豊
孔口標高	KBM 2.21m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　DO-C型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	19.00m								エンジン	ヤンマー NFAD10型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	1.11	1.10	1.10		埋土	暗茶灰～暗灰			粘土質細砂～砂質粘土 含水比非常に高い		1/20 0.70	1.00	0/50			0/50								
	0.41	0.70	1.80		埋土	灰 淡灰 暗灰		軟らかい	砂質シルト　アッシュ主体 含水比高い			1.50 2.00	0/50			0/50								
2												2.50												
3									砂分を部分的に含むシルト 粘性中位～高い 含水比非常に高い 非常に軟弱 砂分は細砂～中砂 GL-3.20m付近より細砂分多くなる 全体に貝殻小片含む 腐植物下部につれ多くなる			3.15 3.45	1	1	1	3/30								
4					砂質シルト	暗灰						4.15 4.45	1	1	1	3/30								
5												5.15 5.45	1/30			1/30								
6												6.15 6.45	1/30			1/30								
7	-4.99	5.40	7.20									7.15 7.45	1/30			1/30								
8									粘性の高い粘土 貝殻片少量含む 含水比高い			8.15 8.45	1/15	1/15		2/30								
9						暗青灰～暗灰		軟らかい				9.15 9.45	1/20	1		2/30								
10					粘土							10.15 10.45	1/15	1/15		2/30								
11												11.15 11.45	1	1	2	4/30								
12	-9.79	4.80	12.00									12.15 12.45	1	2	2	5/30								
13						暗青灰～暗黄灰		中位	粘性の高い粘土 弱固結状 細砂少量含む			13.15 13.45	2	3	3	8/30								
14	-12.49	2.70	14.70		砂混り粘土							14.15 14.45	3	3	3	9/30								
15	-12.99	0.50	15.20		礫混りシルト質砂	灰～暗灰		中ぐらい	φ5mm大小礫含む細砂			15.15 15.34	10	50/9		60/19								
16									細粒砂岩固結状～棒状コア採取される ハンマーの軽打～中打で潰れる～折れる 爪痕白色に残る			16.00 16.06	60/6			60/6								
17						暗青灰～灰						17.00 17.05	60/5			60/5								
18					砂岩				GL-18m付近より硬質			18.00 18.04	60/4			60/4								
19	-16.79	3.80	19.00									19.00 19.04	60/4			60/4								
20																								
21																								
22																								
23																								

北九州地質合資会社

ボーリング柱状図

調　査　名　新資源化センター地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	0	3	0	6	5	5	9	0	0	4

シートNo.　004

ボーリング名	No.4	調査位置	北九州市八幡西区洞北町7番10号			北緯	33° 52’ 46.0244″
発注機関	北九州市環境局循環社会推進部施設課			調査期間	令和4年 1月21日～ 令和4年 1月25日	東経	130° 44’ 51.6406″
調査業者名	北九州地質合資会社 電　話 093-230-6614	主任技師	川野義人	現場代理人		コア鑑定者	川野義人	ボーリング責任者	江川貴司
孔口標高	KBM 1.54m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　D1-B型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	18.00m								エンジン	ヤンマー NFD13型EK	ポンプ	東邦地下工機 BG-3型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	0.84	0.70	0.70		埋土	暗茶灰～灰			シルト質砂主体 下部アッシュ		0.50
1～7					砂質シルト	暗灰		軟らかい	砂分を部分的に含むシルト 粘性中位～高い 含水比非常に高い 非常に軟弱 砂分は細砂～中砂 全体に貝殻小片含む 腐植物下部につれ多く含む 下部逸水多い		
	-6.46	7.30	8.00								
8～11					粘土	暗青灰～暗灰		軟らかい	粘性の高い粘土 貝殻片含む 腐植物部分的に含む 含水比高い		
	-10.06	3.60	11.60								
12					砂混り粘土	暗青灰～暗黄灰～暗茶灰		中位	粘性の高い粘土 含水比高い 部分的に細砂含む		
	-11.46	1.40	13.00								
13～14					礫混りシルト質砂	灰～暗灰	中ぐらい		均一粒子の細砂主体 含水比高い 下部中砂含む GL-14m付近木片混入		
	-12.81	1.35	14.35								
15～18					頁岩.	暗青灰～灰			潜頭部風化進行し土砂状 短柱状～棒状コア採取される コアは指圧～ハンマーの軽打で潰れる 下部ハンマーの中打で折れる 下部硬質		
	-16.46	3.65	18.00								

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.00	0			0/50	
1.50					
2.00	0			0/50	
2.50					
3.00	0			0/50	
3.50					
4.00	0			0/50	
4.50					
6.00	0			0/50	
6.50					
7.00	0			0/50	
7.50					
8.00	0			0/50	
8.50					
9.15	1			1/30	
9.45					
10.15	1	1		2/30	
10.45					
11.15	1	1		2/30	
11.45					
12.15	2	2	3	7/30	
12.45					
13.15	5	5	7	17/30	
13.45					
14.15	7	8	15	30/30	
14.45					
15.00	60			60/9	
15.09	9				
16.00	60			60/6	
16.06	6				
17.00	60			60/5	
17.05	5				
18.00	60			60/5	
18.05	5				

原位置試験

深度 m	試験名及び結果
5.20	L4-1 L L T
5.80	

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
4.00	P4-1	㊀	比重 水度性性 含粒液塑	
4.50				
9.00	P4-2	㊀	比重 水度性性 含粒液塑	
9.50				
12.00	P4-3	㊀	比重 水度性性 含粒液塑	
12.50				
13.00	P4-4	㊀	比重 水度性性 含粒液塑	
13.50				

北九州地質合資会社